

# 上田市公文書館だより / 第34号

## ■公文書館から

### ◆ 第7回公文書館講座を開催

3月17日、上田社会教育大学講師の尾崎行也先生をお招きし、第7回公文書館講座「江戸時代の村名が消えた? -大区・小区の時代-」を開催しました。当日は事前予約をいただいた皆さんで満席となり、先生の講義に熱心に耳を傾けられました。

講義では、前段として明治4年の廃藩置県後の戸籍区や大区・小区制の設定の流れや区長・戸長などが置かれたこと、また、この制度変更に伴い上田藩田中組の村々が違う区に分割されてきた経過の説明等がありました。その後、当館が所蔵する「諸御布達控簿(明治7年)」を用いて、長野県や第8大区会所などから発せられた様々な文書の内容(地券、戸籍、民費、学校、徴兵など)について説明をいただきました。明治政府が近代国家を目指す変革期にあって、地方でも行政区による統治を行い、様々な制度の改変や施策が行われていたことを窺い知り、当時の様子に想いを馳せた1時間半でした。(浅野)



## ■公文書館の催し

### 第8回公文書館講座のお知らせ

「明治12年の東内村誌文書、大正8年上田市制施行関係文書などにみる上田市の歴史」

「第16回公文書館所蔵資料企画展」資料を用い、分かりやすく解説する講座です。

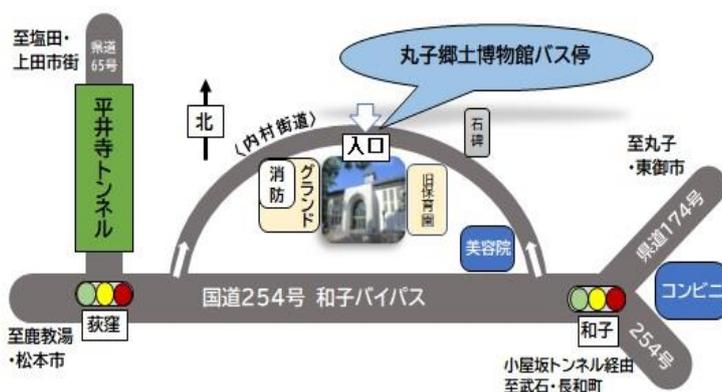
上田市公文書館に所蔵されている東内村誌の鳥屋(とや)城の城跡絵図、大正8年上田市制施行に関係した公文書、昭和3年の丸子町役場新庁舎の火災保険関係文書などを紹介し、上田地域の歴史を考えます。

- 日時 5月18日(土) 午後1時30分~3時
- 会場 上田市公文書館2階閲覧室
- 講師 倉澤 正幸(上田市公文書館専門事務員)
- 参加料 無料
- 定員 先着20名
- 申込 4月16日(火)から5月16日(木)までに上田市公文書館へ電話で

### 第16回公文書館所蔵資料企画展開催中

明治から昭和までの上田地域の公文書など、原本資料9点、写真資料18点、合計27点の資料を展示しています。どうぞお出掛けください。 ■期間 6月16日(日)まで ■観覧 無料

## ■公文書館のご案内 開館時間:午前9時~午後5時(最終入館は午後4時30分までに)



### □住所・電話

〒386-0413 長野県上田市東内 2564-1  
Tel.0268(75)6682 Fax0268(75)6683

### □メール

kobunshokan@city.ueda.nagano.jp

### □ホームページ

<https://www.city.ueda.nagano.jp/>の

観光・文化・スポーツ → 文化施設 → 図書館・公文書館

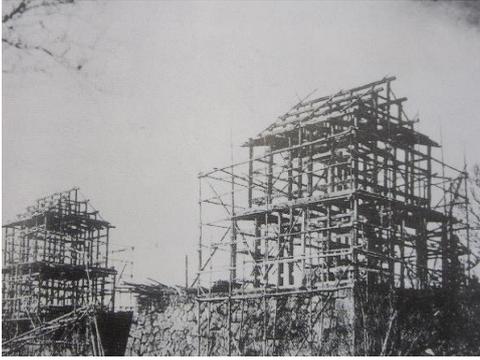
## 「各藩主の治政をおもう」記事（昭和二十八年）

◆昭和二十八年（一九五三年）四月十五日付の「上田市公報」には「真田、仙石、松平 各藩主の治政をおもう」の記事が掲載されています。◆その内容は、「今年は上田城ができてから満三百七十年に当たり、上田城南櫓では四月二十二日より二十六日まで各藩主の治政資料を並べ、随時「上田の歴史」スライドを上映して解説をなす」と記しています。◆この記事では、天正十一年（一五八三年）の真田昌幸による上田城の築城や関ヶ原合戦の際の徳川秀忠軍との戦い、仙石忠政の上田城の大修理、仙石政俊の六ヶ村堰、須川池、溜池の改修、京都所司代、老中を務めた松平忠周、老中として日米和親条約締結に尽力した松平忠優、最後の藩主の松平忠礼（ただなり）など、歴代の上田藩主の業績を詳細に紹介しています。◆昭和四年七月、上田城跡にただ一つ現存していた西櫓に上田藩の貴重な資料などを展示して、「上田徴古館」が開館しました。昭和二十八年三月には、戦時中の昭和十七年に買い戻され、昭和二十三年に復元された南櫓、北櫓を加え、博物館法によって登録された、「上田市立博物館」に改称されました。◆上田城は、明治四年七月の廃藩置県により上田県となり、上田城跡には信濃国を所管する東京鎮台第二分営が設置されました。なお、当時の分営長には乃木希典少佐が就任しました。この記事では、新たに開館した南櫓で最初に開催された企画展を紹介しています。なお、北櫓では、上田小泉誌編さん委員会と共催で、「上小地方考古学展」も開催されました。（倉澤）



「各藩主の治政をおもう」記事

## ■公文書館所蔵資料の紹介



復元された北櫓・南櫓

◆昭和二十八年三月には、戦時中の昭和十七年に買い戻され、昭和二十三年に復元された南櫓、北櫓を加え、博物館法によって登録された、「上田市立博物館」に改称されました。◆上田城は、明治四年七月の廃藩置県により上田県となり、上田城跡には信濃国を所管する東京鎮台第二分営が設置されました。なお、当時の分営長には乃木希典少佐が就任しました。この記事では、新たに開館した南櫓で最初に開催された企画展を紹介しています。なお、北櫓では、上田小泉誌編さん委員会と共催で、「上小地方考古学展」も開催されました。（倉澤）

## ■公文書館の利用について

※公文書館は入場無料、郷土博物館展示室は有料(大人 100 円)



- 資料の検索: 目録検索システムをご利用ください。
  - 閲覧の申込: 所定用紙でお申込みください。メール、ファックスでもお申込みできます。一度に閲覧できる点数は「5点」までです。
  - 資料の閲覧: 個人情報の審査終了後、閲覧の可否を連絡します。館外貸出しは行いませんので、館内閲覧室でご覧ください。
- ◎審査にお時間をいただく場合があります。また、個人情報を含む資料は閲覧できない場合があります。
- ◎目録検索システム、閲覧申込書は、上田市ホームページの公文書館のページからご利用ください。